



Creative Application A09

# 思想と哲学2：存在・実在・リアリティ

2024年度

渡邊 賢悟 (渡辺電気株式会社)

# 受講のてびき

---

- ・ 本資料は作成者の解釈が含まれます。答えのない議論があります
- ・ 前半：本日のテーマ紹介と座学
- ・ 後半：テーマを深める談義・質問・考察
- ・ 気になることをメモをしながら受講してください

# 資料の見方

---

テーマに沿った項目  
(座学で説明します)

左の内容に関連した  
補足キーワード  
(調べ物に役立ててください)

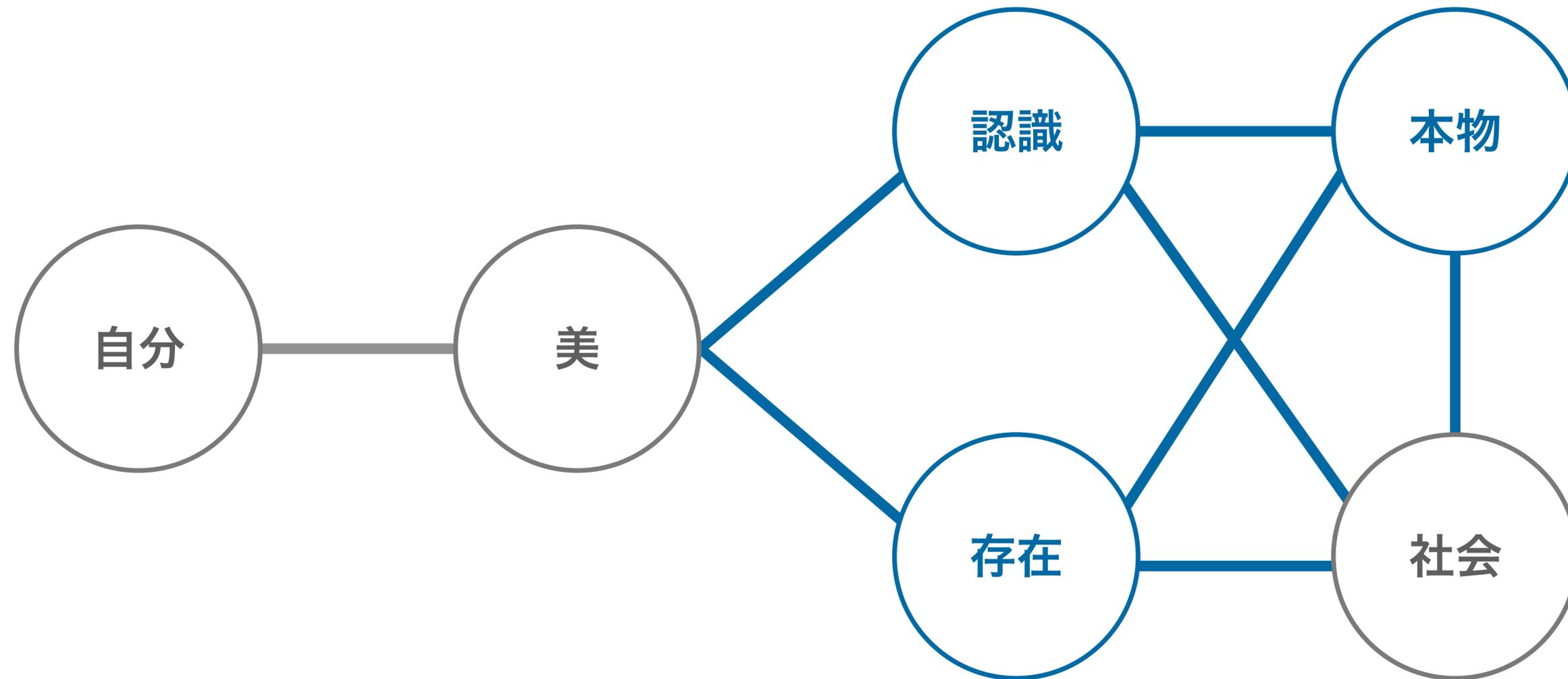
# テーマ

---

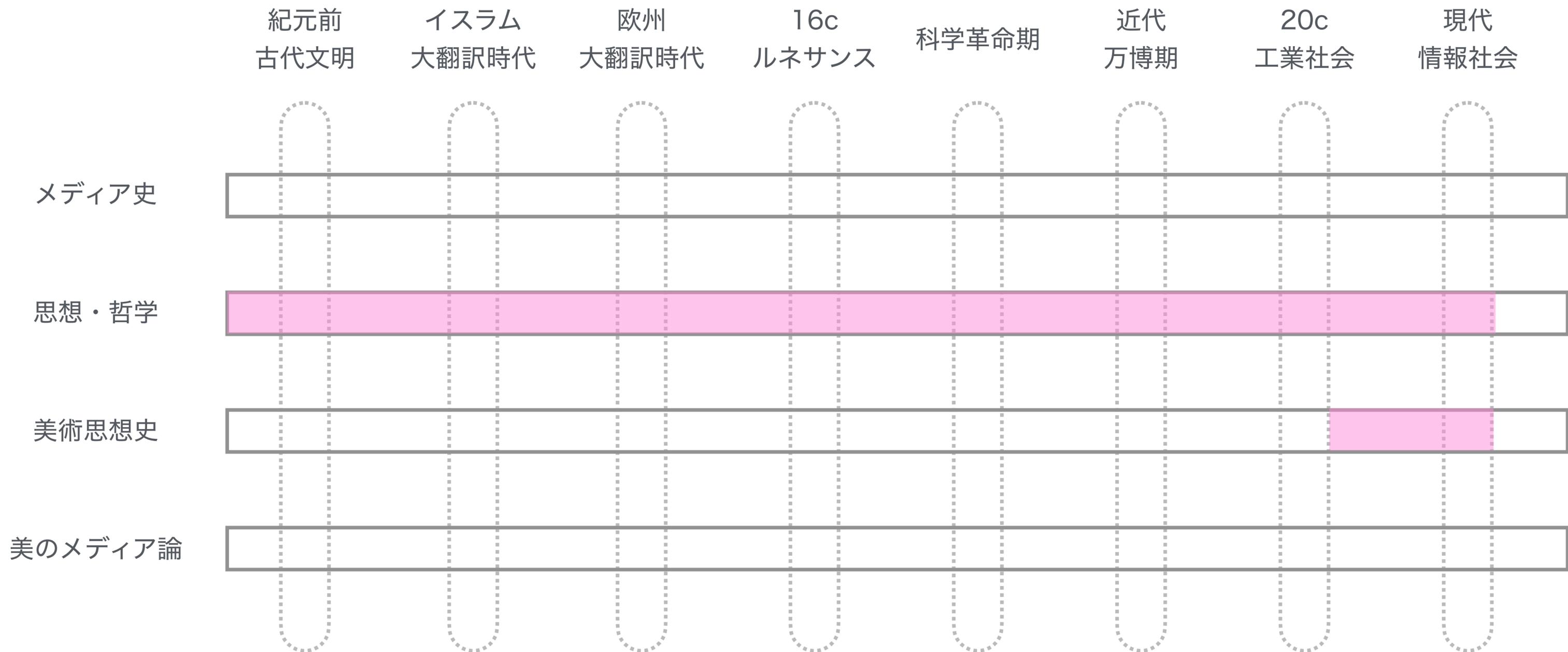
- ▶ **存在とリアリティの議論から個の輪郭を描く**

# 関連要素図

---



# 今回の領域



# 美・存在と社会・個人

---

- ▶ **(前回) 表現のメディア化と美**
  - ▶ 美を通じたメディア化を目指したい
  - ▶ 美へのアプローチとしての無・存在の議論
- ▶ **昨今の技術進歩による「個人」の再解釈**
  - ▶ メディアでつなぐ「個人」の認識が変化
  - ▶ そもそも「個人」とはどのような存在であるのか
  - ▶ まず存在について整理し「個人」を考察したい

# 存在について1 - 存在と実在

---

## ▶ **存在(existence)**

- ▶ 事物があること
- ▶ **物質, 概念, 信じるもの, 想像, 内的なものを含む**

## ▶ **実在(real)**

- ▶ 誰に認識されなくとも**そこに本当に存在する**
- ▶ 存在は認識に担保される. 実在は認識から独立する

### 関連キーワード

- 存在, existence
- 実在, real
- 素朴実在論

# 存在について2 - 古代～中世の实在論

---

## 関連キーワード

- プラトン, 中期イデア論
- アリストテレス, 存在論, 形而上学
- エイドス, ヒュレー, 現実態と可能態
- プロティノス, 古代ネオプラトニズム
- トマス・アキナス, スコラ哲学, 普遍論争
- 実念論, 唯名論, 概念論
- 中世ネオプラトニズム

## ▶ 古代から中世の**实在論**

- ▶ イデア論：完璧なイデア(**实在**)と虚像の現実
- ▶ 形而上学：**实在**は物質に内在する

## ▶ **存在**はある前提で、何が**本物**かの議論

# 存在について3 - 認識論・言語論・メディアロジー

---

## ▶ 認識論と言語論における主観的な**存在**

- ▶ 主観でのみ、**存在**は認識できる
- ▶ 主観は言語やメディアの影響を受ける

## ▶ **存在**は主観的で言語などに左右される

あまつさえ、**実在**は証明できない

### 関連キーワード

- デカルト, デカルトの哲学原理
- カント, 批判哲学, 認識論的転回
- シェリング, ヘーゲル, ニーチェ
- ソシュール, 言語理論
- レヴィ=ストロース, 構造主義
- ドゥブレ, スティグレール, メディアロジー
- フッサール, 現象学,

# 存在について4 - 主客や実在の再検討

---

## 関連キーワード

- フッサール, 現象学, エポケー
- ハイデガー, 存在論
- メイヤスー, 思弁的実在論
- ガブリエル, 新実在論, 新実存主義

- ▶ **主観・存在・実在の見直し, さまざまな捉え方**
  - ▶ 主観の奥に入り疑いようのない**存在**を探す
  - ▶ 世界は全て偶然であり, 可能性を否定しない
  - ▶ 場の数だけ法則があり場の現象は**実在**と考える
- ▶ **物質の領域と認識の領域のすり合わせを模索する**

# 存在について5 - 東洋における存在

---

- ・ **主客の同一性や，個は縁の一部という意識**
  - ・ **存在**は常に変化しており決まった形がない
  - ・ 物質や現象は因縁から生じる
  - ・ 関係性が世界を形成する(個主体ではない)
- ・ **外界と自分のつながりに着目し**  
つながりから自己や世界の**存在**を感じる

## 関連キーワード

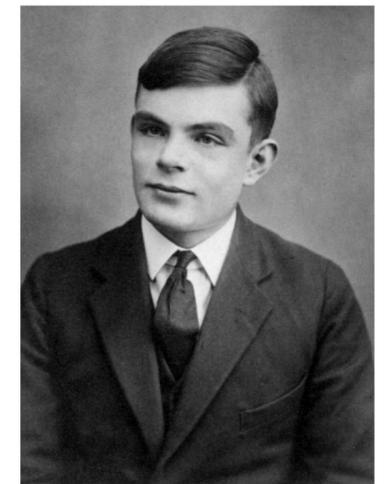
- インド哲学, 梵我一如
- 主客不可分
- 大乘仏教, 部派仏教
- 諸行無常, 諸法無我
- 色, 空, 色即是空, 空即是色
- 縁起

# 個とリアリティ1 - 知覚の先への模索

- ・ 表現者たちによる**リアリティ**の模索
  - ・ 多視点表現や抽象表現
    - ・ 見えたままが全てではない
    - ・ 知覚の先の”本物”の追求
- ・ 表現物を窓にした**存在**の先の**リアリティ**
- ・ リアリティはどこから？
  - ・ 知覚の先を考えうるのは個人

## 関連キーワード

- セザンヌ, 「リンゴの籠のある静物」
- ピカソ, キュビズム, 「泣く女」
- モンドリアン, 新造形主義, 「コンポジションシリーズ」
- バウハウス, 機能主義



# 個とリアリティ2 - 個人・リアリティ・バーチャル

---

## ▶ VirtualやRealityの再検討

- ▶ Virtual : **そのものではないが本質的に同じ**
- ▶ Virtualな人格存在は個人か否か？
- ▶ AIの応答は個人か否か？

## ▶ 技術・人間性・存在が絡み合う

- ▶ 個人・存在・実在の考察 → 技術に寄与する

### 関連キーワード

- xR(VR, AR, MR)
- チューリング, bombe
- 坂村健, TRON
- 機械学習(ML, DL), AI
- chatGPT, Gemini, Claude
- 生成AI
- カーツワイル, シンギュラリティ
- ガブリエル, 新實在論

# 存在とリアリティの議論から個の輪郭を描く

---

- ▶ 存在が前提の**実在論**
- ▶ 存在は主観によるものとする**認識論**
- ▶ 自己と外界のリンクを通して感じる東洋的**存在**
- ▶ Virtualの時代, **リアリティの再考察**
- ▶ **人間とは, 個人とはなにか の問い**

# CreApp-Bのリンク8

---

- ▶ **表現したいものの存在感を醸すには？を考える**
  - ▶ ただ表出するより、提示の仕方の工夫で存在感を増す
- ▶ 有と無のコントラストを検討する → 有が際立つ
- ▶ 雑然とした内容は存在感を埋没させる. 勇気を持って削る
- ▶ あえて見せない方が存在感が示せる場合がある. 検討してみる

# 本日の談義・考察一助

---

- a. 存在と実在の多態性について考えたい
- b. ”私”とは誰か
- c. 思考をメディア化し社会につないだ“私”は、主観の”私”と等しいか
- d. 西欧的な主客弁別と、東洋の主客不可分の違いはなんだろうか
- e. 上記に限らず、自由に質問・問題提起・雑談をしてほしい

# 次回予定

---

- ▶ **東洋思想史1: 自己内の探究・我と私と存在**

# 参考文献

---

1. ウンベルト・エーコ著, 河島 英昭訳, 「薔薇の名前」, 東京創元社, 1990
2. マーシャル・マクルーハン著, 栗原 裕訳, 河本 仲聖訳, 「メディア論 人間の拡張の諸相」, みすず書房, 1987
3. 岡本 裕一郎, 「いま世界の哲学者が考えていること」, ダイヤモンド社, 2016
4. 竹田 青嗣, 「現象学入門」, NHK出版, 1989
5. 西垣 通, 「AI原論 神の支配と人間の自由」, 講談社選書メチエ, 2018
6. 藤田 一照, 山下 良道, 「アップデートする仏教」, 幻冬舎, 2013
7. クァンタン・メイヤスー著, 千葉雅也訳, 大橋 完太郎訳, 星野 太訳, 「有限性の後で」, 人文書院, 2016
8. マルクス・ガブリエル著, 清水 一浩訳, 「なぜ世界は存在しないのか」, 講談社選書メチエ, 2018